T2 Reverb

日本語マニュアル - Japanese Manual - 2014-09-20

目次

重要 - 安全のための注意事項 1
注意 2
保守整備（サービス） 2
警告 2
EMC/EMI 2
本書で使用する記号 3

はじめる前に 4
このマニュアルについて 5
サポートについて 5

このペダルについて 6
T2 Reverb 7
トゥルー・バイパス 7

TonePrint 8
TonePrint とは？ 9
TonePrint セッティングの転送 9
TonePrint Editor による TonePrint の作成 10

セットアップ 11
Ready… 12
Set… 12
Play! 12

インプット／アウトプット／コントロール類 13
電源とエフェクトのオン／オフ 14
フットスイッチ 14
オーディオ・インプット＆アウトプット 14
USB ポート 15
エフェクト・コントロール 15
リバーブ・タイプ 16

メンテナンス 17
ファームウェアのアップデート 18
電池の交換 18
トゥルー・バイパスとバッファー・
バイパスの切り替え 19
キルドライ・オン／オフ 19

FAQ 20
TonePrint ペダルの FAQ 21

リンク 22
TonePrint 23
サポート 23
TC エレクトロニック 23

仕様 24

重要 - 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。製造者の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。

13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態で損傷した場合には保守整備が必要です。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

保守整備（サービス）

保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

警告

火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。

閉じられた空間に設置しないでください。

EMC / EMI

Electromagnetic compatibility /
Electromagnetic interference

本機器は FCC 規準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- 本機器と受信機の距離を遠ざける
- 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- 販売代理店、または経験のある無線／ TV の技師に相談する

For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号

三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。

三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の文書類に記載されていることを示します。

はじめる前に

このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の機能と操作方法の情報が含まれます。

重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

本マニュアルは PDF 形式でのみ配布されており、TC エレクトロニックのウェブサイトからダウンロードできます。

本 PDF マニュアルは内部及び外部ハイパーリンクを含みます。各ページ左上の TC ロゴをクリックすることで、目次に戻ることができます。

本マニュアルの内容は、予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版をダウンロードするには、TC エレクトロニックのウェブサイトをご参照ください。

tcelectronic.com/support/manuals/

サポートについて

このマニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、弊社オンラインサポートまでご連絡ください。

tcelectronic.com/support/

Enjoy your TC product!

このペダルについて

この度は、TC エレクトロニック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。弊社では製品を長期間ご使用いただけるよう最善を尽くしており、本製品を長くご愛用いただけることを願っております。

T2 Reverb

T2 Reverb は、米 PGS（ProGuitarShop）スタッフの手によってカスタム・チューニングされたリバーブ・ペダルです。深く妖艶な「Grand Canyon」や心に残る美しさ漂う「Aurora Borealis」など、リバーブの概念を一歩押し進めた 10 種類のオリジナル・リバーブ・サウンドを搭載しています。

T2 - 主な特徴

- TC Electronic と ProGuitarShop によって作成された 10 種類のカスタム・リバーブ・サウンドを搭載
- ステレオ入出力
- TonePrint 対応、専用エディターによる内部パラメーターの自由なエディットが可能

トゥルー・バイパス

TC はシンプルな音に対する信念を持っています。TC 製品を使用している間のサウンドは素晴らしくあるべきで、使っていない時にはその機材の「音」は一切聞こえるべきではない、と考えます。本ペダルはトゥルー・バイパス仕様で、ペダルのバイパス時にもトーンに影響を与えません。

また、本ペダルは、アナログ・ドライ・スルー設計で、ドライ音をデジタルに変換することなく出力し、原音をレイテンシーなくピュアな状態に保ちます。

製品の前後に接続する機器の数や種類、使用する全体的なケーブル長によって、トゥルー・バイパス／バッファー・バイパスのモード切り替えを行った方が良い場合があります。詳細は、「トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの切り替え」セクションをご参照ください。

TonePrint

本製品は、TonePrint に対応しています。TonePrint についての詳細は、次の URL をご参照ください。
tcelectronic.com/toneprint/

TonePrint とは？

TC エレクトロニック TonePrint 対応ペダルは多数の内部パラメーターで構成され、本体のノブは、内部パラメーターの設定を様々な割り当てや組み合わせで変更しています。TonePrint では、エフェクト・アルゴリズムの内部チューニングを変更したり、ノブの機能を「再定義」することができます。

シグネチャー・サウンド

通常のノブ操作で得られる音の変化は、TC エレクトロニックの開発者・ミュージシャン・製品スペシャリストたちが作り上げた、バランスと高品位サウンド重視の標準的なセッティングとなります。もし、世界中のトップ・プレイヤーにこの内部チューニングを一任したらどうなるでしょう。そして、自分でエフェクトそのものをチューニングできる自由を手に出来たら ...

TonePrint は、この夢のような機能を実現します。Paul Gilbert、Guthrie Govan、John Petrucci、Steve Vai をはじめとした世界の名だたるトップ・プレイヤーによって作られた TonePrint の数々は、ペダルに隠された無限とも言えるポテンシャルを掘り起こします。

また、TonePrint Editor を使えば、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成が可能となります。

TC はこれらの TonePrint を無料で一般公開しており、ユーザーは設定を簡単に製品本体にアップロードできます（「TonePrint セッティングの転送」参照）。

TonePrint セッティングの転送

TonePrint セッティングをペダルに転送するには、スマホ用 TonePrint アプリを使用します。ペダルの設定変更に特殊な機材を別途用意する必要なく、TonePrint をペダルに「ビーム」転送できます。

スマートフォン用 TonePrint アプリの入手方法

iPhone 版 TonePrint アプリは Apple の App Store からダウンロードできます。

Android 版 TonePrint アプリは Google Play からダウンロードできます。

アプリ以外の追加ダウンロードは必要なく、アプリ内課金はありません。アプリから、無償で全ての TonePrint に直接アクセスできます。

TonePrint セッティングの転送 - 操作手順

- スマートフォンの TonePrint アプリを起動します。
- TonePrint を選びます。アーティスト、または製品（ペダルの種類）別にブラウズできます。おすすめの TonePrint も表示されます。
- TonePrint ペダルにギターまたはベースを接続します。
- TonePrint ペダルをオンにします。
- 楽器を 1 ピックアップの設定にして、ボリュームを上げます。
- スマートフォンのスピーカーを使用ピックアップに向けて近づけ、「Beam to pedal」をタッチします。

TonePrint Editor による TonePrint の作成

既述の通り、スマートフォン用 TonePrint アプリは著名ギタリストやベーシストによる TonePrint の転送に使用します。TonePrint Editor は、そのコンセプトを一歩突き進め、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成を可能とします。

TonePrint Editor の主な特徴

- カスタム・バージョンの TC エフェクトを一から作成可能
- 全てのエフェクト・パラメーターとエフェクトの作用をコントロール可能
- ノブの機能とレンジをカスタマイズ可能
- 設定はリアルタイムで確認可能
- PC ／ Mac 対応
- 無償

TonePrint Editor の入手方法

Windows ／ OS X 版 TonePrint Editor のダウンロード URL は次の通りです。

tcelectronic.com/toneprint-editor/

Apple iPad 用 TonePrint Editor は、Apple の App Store からダウンロードできます。

TC エレクトロニックの Mini ペダルをコントロールするには、TonePrint Editor のヴァージョン 2.0 以降が必要です。ヴァージョン 2.0 にはライブラリー機能が追加され、インターネットに接続されていない状態からでも TonePrint にアクセス、そして使用できるようになりました。

TonePrint Editor マニュアルの入手方法

TonePrint Editor マニュアルは次の URL からダウンロードできます。

tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

Adobe Reader をご使用の場合、マニュアルに含まれるリンクを使用できます。スクリーンショット内をクリックすると、そのセクションの解説ページに移動します。

セットアップ

Ready…

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

– エフェクト・ペダル本体 x 1
– TC エレクトロニック・ステッカー x 1
– TC エレクトロニック・ギター用製品リーフレット x 1

搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。

製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。

Set…

– ペダルに次の仕様の9Vパワーサプライを接続します。

本製品にパワーサプライは付属しません。別売オプションの TC Electronic PowerPlug 9 を推奨します。
– パワーサプライをコンセントに接続します。
– 楽器からペダル右側のインプット･ジャックに ¼ “標準楽器用ケーブルを接続します。
– ペダル左側のアウトプット･ジャックから次のエフェクターまたはアンプに ¼" 標準楽器用ケーブルを接続します。

※ 本製品に USB ケーブルは付属しません。TonePrint 操作を USB 接続で行う場合、別途 USB ケーブルをご用意ください。製品側の USB コネクター形状は Mini-B となります。

Play!

インプット／アウトプット／コントロール類

T2 Reverb

電源とエフェクトのオン／オフ

電源入力

ペダルの電源をオンにするには、本体のパワー・イン・ソケットにパワーサプライを接続します。

電源のコネクターは、標準的なセンターマイナスの 5.5 ／ 2.1 mm DC プラグです。

100 mA 以上の容量を供給できる 9V パワーサプライが別途必要です。

ハムノイズ対策の観点から、パワーサプライは出力がそれぞれアイソレートされているものをご使用ください。

フットスイッチ

- エフェクトをオンにするには、フットスイッチをタップします。
- エフェクトをオフにするには、フットスイッチを再度タップします。

オーディオ・インプット＆アウトプット

オーディオ・インプット（ステレオ）

ペダル右側のインプット・ジャックは、モノラル／ TS の標準 ¼" ジャックです。

- 音声ソースがモノラル信号の場合、ペダル右側の「M」にジャックを挿入します。
- 音声ソースがステレオ信号の場合、L ch シグナルをペダル右側の「M」に、R ch シグナルをペダル右側の「S」に入れます。

オーディオ・アウトプット（ステレオ）

ペダル左側のアウトプット・ジャックは、モノラル／ TS の標準 ¼" ジャックです。

- 本製品の次に接続する機器がモノラル入力となる場合、ペダル左側の「M」端子と次に接続する機器のインプット端子を接続します。
- 本製品の次に接続する機器がステレオ入力に対応している場合、ペダル左側の「M」端子を次に接続する機器の L ch に、「S」端子を R ch に接続します。

USB ポート

TonePrint セッティングを転送するための Mini-B USB 端子です。TonePrint Editor からアーティスト TonePrint を転送、または自作の TonePrint を転送できます。詳細は、「TonePrint」セクションをご参照ください。

また、本機用のソフトウェア・アップデートがリリースされた場合は、アップデート作業にこのポートを使用します。詳細は、「ファームウェアのアップデート」セクションをご参照ください。

エフェクト・コントロール

各ノブの機能は、あくまでもデフォルトの割り当てのものです。TonePrint Editor から、ノブを別のパラメーターまたはパラメーターの組み合わせに割り当てることができます。詳細は、TonePrint Editor マニュアルをご参照ください。

DECAY – ディケイ・タイム・ノブ

リバーブのディケイ・タイムを調整します。

選択したリバーブ・タイプによって、ディケイ・タイムの可変幅は異なります。

TONE – トーン・ノブ

ダークからクリスプなものまで、リバーブで強調する周波数帯域を調整します。基本的には、どれだけリバーブに主張をさせたいかでセッティングを決めると良いでしょう。

MIX – エフェクト・ミックス・ノブ

エフェクト成分のレベルを調整します。

ダイレクト信号のレベルは常に元のレベル（ユニティ・ゲイン）を保ちます。MIX ノブはエフェクト成分のレベルのみを調整します。

リバーブ・タイプ・セレクター

リバーブのタイプを選びます。

用意されているリバーブ・タイプに関する詳細は「リバーブ・タイプ」セクションにて解説します。

プリディレイ・セレクター

プリディレイとは、原音とリバーブ減衰音の間に挿入される短い「間」のことを指します。ディケイ・タイムやミックス・レベルが高い状態でも原音をはっきりと聴かせたい場合に使用できます。

リバーブ・タイプ

Reverb I - リバーブ I
時空が伸縮する質感のスローなモジュレーションで、ウォームな空間を演出します。

Reverb II - リバーブ II
サステインの長いリバーブに、オルガンのようなビブラートが独特な艶を与えます。

Reverb III - リバーブ III
クリアできらびやかなリバーブに、低域の鼓動が加わります。

Reverb IV - リバーブ IV
無限に広がる広大なカテドラル・タイプのリバーブです。

Reverb V - リバーブ V
ダブリング的な効果も得られる、音程がゆっくりと揺らぐリバーブです。

Reverb VI - リバーブ VI
ウォームな減衰成分と微細なモジュレーションを特徴とするプレート・リバーブです。

Reverb VII - リバーブ VII
フランジ・リバーブです。音程がずれることなく 80 年代のクラシックなスイープを得られます。

Reverb VIII - リバーブ VIII
ディケイを限界まで伸ばした、ディープでナチュラルなホール・リバーブです。

E1（Ethereal 1）– エーテリアル 1 リバーブ
ProGuitarShop 作成

「リバーブの裏できらびやかな倍音が揺らめく、オーロラのような存在感と輝きを持ったリバーブです。内部ではリバーブ・ディケイの EQ をクリエイティブに活用しており、シンセサイザーやオクターバーを使うことなく、リバーブ成分の自己反応によって高次倍音を生成しています。ギターのサウンドを、ハーモニクスの霧に変容させます。」

Aaron Miller、PGS 創業者

E2（Ethereal 2）- エーテリアル 2 リバーブ
ProGuitarShop 作成

「ギターサウンドのバックに、ヘリコプターのようなパルス状のドローンを加えます。この効果は E1 と同じくリバーブの背面に潜みますが、E2 はとてもダイナミックで、弾く弦やピッキングに反応します。低い弦では、軽く弾いた際に泡のようなサウンドに変貌する低音のドローン、高い弦ではリバーブ・エフェクトの背面でサウンドが渦を巻く効果が得られます。」

Aaron Miller、PGS 創業者

TP – TonePrint
このセッティングを選ぶと、ペダルにロードされている TonePrint エフェクトが有効になります。

TonePrint の使用法についての詳細は、「TonePrint」セクションをご参照ください。

メンテナンス

ファームウェアのアップデート

TC は、製品のファームウェア・アップデートを公開することがあります。TC ペダル製品のファームウェアをアップデートするには、Windows または OS X を搭載した USB 対応パソコンと、ペダル用の DC パワーサプライが必要です。

ファームウェア・アップデートの準備

- ファームウェア・アップデート用のファイルは、TC ウェブサイトの該当製品ページの「サポート」セクションからアクセスできます。
  - Windows 版は zip アーカイブ形式で供給されます。
  - OS X 版は、ファームウェア・インストーラーを含むディスクイメージファイル形式で供給されます。
- ペダルから、パワーサプライを含む全てのケーブルを外します。
- ペダルとコンピューターを USB 接続します。
- TC ペダル製品のフットスイッチをホールド（長押し）します。ご使用の TC ペダルが複数のフットスイッチを搭載している場合は、一番左のフットスイッチを使用します。
- フットスイッチを長押ししたまま、電源ケーブルを接続します。
- ペダルの LED が緑に点灯するはずです。ご使用の TC ペダルが複数の LED を搭載している場合は、一番左の LED が緑に点灯するはずです。これは、ペダルがソフトウェア・アップデートを受け付ける準備ができていることを示します。
- フットスイッチを離します。
- これで、TC ペダルがアップデート可能な状態になります。

ファームウェア・アップデートの適用

- コンピューター側で、起動している DAW 等全ての MIDI 関連アプリケーションを終了してから、ダウンロードしたペダルのファームウェア･アップデーターを起動します。
- STEP 1 のヘッダの下に表示されるドロップダウン・リストから、アップデートする TC ペダルを選択します。
- STEP 2 の下に表示される「Update」ボタンが緑に表示されたら、クリックします。

ファームウェア・アップデートが TC ペダルに転送されます。プログレスバーが 100% に到達するのを待ちます。アップデート作業が完了したら、ペダルは自動的に再起動します。

電池の交換

電池交換の手順は次の通りです。

- ペダル裏側のネジを外して、バックプレートを外します。
- 古い電池を外してから、新しい電池を正しい極性で装着します。
- バックプレートを戻します。

留意点

- 電池を加熱／分解したり、火や水に投入することは絶対にしないでください。
- 充電用以外の電池は充電しないでください。
- 長期間ペダルを使用しない場合は電池を外してください。
- 電池を廃棄する際は、法規や条例に従ってください。

トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの切り替え

トゥルー・バイパスとバッファー・バイパス

トゥルー・バイパス：
ハードウェア的にバイパスを行い、ペダルをバイパスした際に信号に一切影響を与えません。本ペダルの工場出荷時には、この設定になっています。

少数のペダルを使用していて、ペダルの前後の配線も短距離の場合に適しています。

バッファー・バイパス：
- ギターから一つ目のペダルまでに長いケーブルを使用する
- 多くのペダルを使用する
- エフェクトボードからアンプまでに長いケーブルを使用する

といった場合は、通常、最初と最後のペダルのバッファーを有効にすることで最善のパフォーマンスが得られます。

トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの違いを聞き分けられるかどうかというのは、数えきれない要素が絡みます。アクティブとパッシブ・ピックアップ、シングルコイルとハムバッカー、ケーブルのクオリティー、アンプ・インピーダンス等、セットアップ全体の多くの要素が様々な形で相互に影響を与え合うため、一律な答えは存在せず、状況によって聞き分けられる場合もそうでない場合も存在します。

一番頼りになるのは自分の耳となりますので、ご使用のセットアップに適した設定を探し当ててください。

バイパス・モードの設定手順は次の通りです。

- ケーブル類を外し、本体を裏返します。
- バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さいDIP スイッチが 2 つ見えます。
- 上の DIP スイッチ（DC 9V コネクターに近い方）は、トゥルー･バイパス（デフォルト設定）とバッファー･バイパスの切替スイッチです。
- DIP スイッチのポジションを変えることで、バイパス・モードが切り替わります。
- バックプレートを戻します。

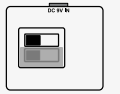
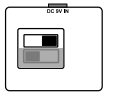
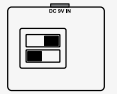
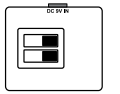
キルドライ・オン／オフ

キルドライはペダルのアウトプットから原音を取り除きます。この設定は、通常ペダルをパラレル・エフェクト・ループで使用する際に選択します。

キルドライの設定手順は次の通りです。

- ケーブル類を外し、本体を裏返します。
- バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さいDIP スイッチが 2 つ見えます。
- 下の DIP スイッチ（DC 9V コネクターから遠い方）が、キルドライのオン／オフ切替スイッチです。

キルドライは、バッファー・バイパス時（上のボタンを右に設定している場合）のみの選択肢です。バッファー・モードの切替手順に関しては、「トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの切り替え」の記述をご確認ください。トゥルー・バイパス時にキルドライを設定することはできません。

トゥルー・バイパス	
バッファー・バイパス	
キルドライ・オフ	
キルドライ・オン	

FAQ

TonePrint ペダルの FAQ

TonePrint ペダルはアナログとデジタル、どちらでしょう？

ギターのドライ信号は、デジタル変換されることなくアナログのまま出力されます。ウェット信号は、アナログのギターの信号に重ねられます。

TonePrint ペダルのイン／アウト・ジャックはバランス仕様ですか？

いいえ。TonePrint ペダルのイン／アウトはアンバランス仕様です。TS ジャックの標準楽器用ケーブルをご使用ください。

この TonePrint ペダルをチューブアンプのセンド／リターン（ラインレベル）に接続することはできますか？

はい。TonePrint ペダルは広いゲインレンジを持っており、楽器レベルとライン・レベル両方に対応します。一部のアンプは、通常の +4 dBu のライン・レベルよりもホットに設計されています。そのようなアンプでは TonePrint ペダルのインプットでクリッピングが生じる可能性はあるものの、アンプとしては極めて例外的です。99% のアンプでは問題なく TonePrint をご使用いただけます。

このマニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、弊社オンラインサポートまでご連絡ください。

tcelectronic.com/support/

リンク

TonePrint

- **TonePrint**
  tcelectronic.com/toneprint/
- **TonePrint 製品**
  tcelectronic.com/toneprint/toneprint-products/
- **スマートフォン用 TonePrint アプリ**
  tcelectronic.com/toneprint-app/
- **TonePrint Editor**
  tcelectronic.com/toneprint-editor/
- **TonePrint Editor マニュアル**
  tcelectronic.com/toneprint-editor/support/

サポート

- **TC Electronic サポート**
  tcelectronic.com/support/
- **TC Electronic – 製品ソフトウェア**
  tcelectronic.com/support/software/
- **TC Electronic – 製品マニュアル**
  tcelectronic.com/support/manuals/
- **TC Electronic ユーザー・フォーラム**
  forum.tcelectronic.com/

TC エレクトロニック

- **ウェブ**
  tcelectronic.com/
- **Facebook**
  facebook.com/tcelectronic
- **Google Plus**
  plus.google.com/+tcelectronic/
- **Twitter**
  twitter.com/tcelectronic
- **YouTube**
  youtube.com/user/tcelectronic

仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

バイパス・モード	トゥルー・バイパス（バッファー・バイパス選択可）
信号回路	アナログ・ドライ・スルー
寸法（幅 x 奥行き x 高さ）	72 x 122 x 50 mm – 2.8 x 4.8 x 2.0″
入力コネクター	2 x 標準 ¼" ジャック – モノラル／ TS、自動モノラル／ステレオ検知
出力コネクター	2 x 標準 ¼" ジャック – モノラル／ TS、自動モノラル／ステレオ検知
電源入力	標準 9 V DC、センターマイナス、>100 mA（パワーサプライ別売）
バッテリー・オプション	標準 9 V（バッテリー別売）
入力インピーダンス	1 M Ω
出力インピーダンス	100 Ω
USB ポート	Mini USB コネクター（カスタム TonePrint のエディット／アップロード、及びソフトウェア・アップデート用）

tc electronic